

西武渋谷店、将来の再開発に向け 8月21日(金)リニューアルオープン

1968年の開店以来、高感度なライフスタイルを提案し、常に時代をリードしてきた西武渋谷店が8年ぶりに新しく生まれ変わります。2020年以降に予定されるエリア再開発への参画に向けたステップとして、アート&デザインをテーマに、現在のストアメッセージ『Art meets Life』をさらに先鋭化させる新しい店づくりに挑戦します。世界的なアーティストやデザイナー、建築家がA館1階入口、A館3階・5階およびB館5階のフロアデザインを担当。高感度な全く新しいコンセプトに基づく情報発信拠点、核売場が完成いたします。

西武渋谷店 主なリニューアルポイント

入口環境	A館1階	一期一会	カールステン・ニコライが『一期一会』の世界を体現。「人」の動き、エリアの「気温」、「月」の puls を音と映像で体感する“アートゲート”
レディースフロア	A館3階	遊園地	「キートゥースタイル」: ファッションに敏感な30歳代に向けたシブヤコンテンツポラリースタイル。佐藤オオキによるフロアデザインコンセプトは、『遊園地』
	A館5階	宮殿	「モードプラス」: エグゼクティブな50歳代に向けた上質なセレクトショップ。建築家・永山祐子によるフロアデザインコンセプトは、リユクスな『宮殿』
メンズフロア	B館3階	公園	*2013年 10月22日(水) リニューアル 「コンポラックス」: コンテンポラリーな インポートウェアの 編集売場
	B館5階	博物館	「上質カジュアル」・「ライフスタイル雑貨」・「ビジネスパーツ」等の編集テーマでセレクト。
イベント	A館7階	近未来	ファッションを身に纏うアートとして創造し、様々な分野に影響を与え続けているオランダ出身のデザイナー、『イリス・ヴァン・ヘルベン展』を開催。

入口環境: A館1階 『アートゲート』

世界で活躍する音楽・映像アーティストの「カールステン・ニコライ」を起用し、A館1階入口を、全く新しい「音と映像」で演出します。入口にある高さ2.8~3.3mの柱4本の全面に、LEDビジョンを組み込み、映し出される映像アートは、人の動き、エリアの気温、月からの puls を取り込むことで変化します。365日、毎秒同じ映像は流れない、まさに「一期一会」の音と映像の新体験です。



Carsten Nicolai.chroma actor.2015

<カールステン・ニコライ/アーティスト>

Carsten Nicolai 2008 Photo: Sebastian Mayer

1965年生まれ。出身地ドイツを拠点に、欧米各地で個展を開催し、現代アーティストとしての活動の傍ら、アルヴァ・ノトの名前で、電子音楽の分野でも国際的に活動。様々な世界的なアーティストともコラボしています。ビジュアルアートと音楽という異なる2つの分野をボーダーレスに行き来し、それを紡ぎあげていく才能を世界で発揮しています。



レディースフロア:A館3階『キートゥースタイル』



環境コンセプト「遊園地」イメージ

A館3階は、ファッションに敏感な30歳代女性に向けて、自主編集売場「キートゥースタイル」で高感度なコンテンポラリースタイルを提案します。渋谷店発のコンテンポラリーファッションや、才能ある次世代デザイナーを発掘し育成していきます。

環境コンセプトは、ヨーロッパの公園に隣接した「遊園地」。世界で活躍するデザイナー「佐藤オオキ」とコラボレーションし、新たな驚きのあるアート&デザインが高感度なファッションと融合します。そして、B館3階の自主売場「コンポラックス」とブリッジで繋がり、グローバルなコンテンポラリーゾーンを形成します。

<佐藤オオキ/デザイナー>

デザインオフィス nendo 代表。1977年カナダ生まれ。2002年早稲田大学大学院修了、デザインオフィス nendo 設立。建築、インテリア、プロダクトなど活動は多岐に渡り、Newsweek 誌「世界が尊敬する日本人100人」にも選出、受賞歴も多数。

作品はニューヨーク近代美術館(米)、ポンピドゥーセンター(仏)、ビクトリア アンド アルバート博物館(英)など世界の主要美術館に多数収蔵されている。

佐藤オオキ



■A館3階 総ブランド数:52 [うち、☆=新規導入:19/改装:3(トゥモローランド、デプレ、セオリー)]

<主なブランドのご紹介>

■アンリアレイジ:

森永邦彦は1980年東京生まれ。2003年、ブランド「アンリアレイジ」を設立。2005年にIFFにてSENKENアッシュ大賞を受賞。その後ニューヨークで開催された新人デザイナーコンテスト「GEN ART2005」でアバンギャルド部門大賞を受賞しました。今回、アンリアレイジ×カールステン・ニコライのコラボ商品が登場。2015-26年秋冬のテーマ「LIGHT」と連動し、ワンピース2型、ブラウス1型、カットソー1型を限定販売いたします。

・ワンピース(写真右)・・・49,680円



☆PUBLIC SCHOOL(写真①):

2008年、マックスウェル・オスボーンとダオイ・チョーがスタートしたブランド。コンセプトは「New York」。ニューヨークの街のインスピレーションから様々な要素をコレクションに盛り込んでいる。

2013年CFDAファッションアワードのスワロフスキー賞メンズウェア部門を受賞。

・ドレス各種・・・75,384円～



☆HOOD BY AIR(写真②):

2006年にデザイナー、シェーン・オリバーによりニューヨークで誕生したブランド。独創的かつインパクトのある大胆なデザインを特徴とし、海外セレブも愛用する注目のブランド。

・カットソー各種・・・32,400円～



①

②

レディースフロア:A館5階『モードプラス』



環境コンセプト「宮殿」イメージ

人との関わりや精神的な学びに価値観を置き、エシカルな消費スタイルで意識の高い50代オトナが集う街「渋谷」。女性の活躍推進により、この世代のエグゼクティブキャリアは、仕事・遊びを通じ、パワフルに消費を牽引しています。そこでA館5階は、高感度なオトナに驚きを提供する売場づくりとして、女性の建築家「永山祐子」を起用。A館5階のコンセプトは「宮殿」。さらに「宮殿」を居抜いた美術館のイメージで作品のように商品が並びます。この全く新しいコンセプトが連絡ブリッジでB館5階のメンズフロアにも繋がっていきます。

永山 祐子



<永山祐子/建築家>

1975年東京都生まれ。青木淳建築計画事務所を経て、2002年に独立。主な作品に「LOUIS VUITTON 京都大丸店」(04年、京都)、「カヤバ珈琲」(09年、東京)、「豊島横尾館」(13年、香川)など。また、ロレアル賞奨励賞、JCD デザイン賞奨励賞、JIA 新人賞 2014 など国内外での受賞歴も多数。

■A館5階 総ブランド数:40 [うち、☆=新規導入:10(マッキントッシュロンドン他)/改装:1(アドーア)]

<主なブランドのご紹介>

■ディナーやパーティー、レセプションなど華やぎのシーンにふさわしいデザインやパターンにこだわったドレスを提案。スリーブレスドレスのデザインバリエーションにも注目です。

☆マローブ:2014AWからスタート。永年、世界のファッションをウォッチしてきたファッションディレクターの経験をもとに、着用シーンを考えた完成度の高いドレスブランドです。クラシカルで美しいフォルムが特徴のドレスです。

・ドレス(写真①)・・・168,480円

☆ミカコ ナカムラ:2014AWからスタート。カシミアシルクなど上質な素材、モード感のあるデザインフォルム、パターンにこだわった美しいシルエットのドレススタイルを提案します。

・ドレス(写真②)・・・194,400円

①



②



■上質、高品質を追求した、ラグジュアリーなリラクシングウェア(カジュアルウェア)と、雑貨をトータルでセレクト・編集しました。

☆ロレーナ アントニアッツィ(写真③):1993年創業、イタリア中部・ペルージャのニットブランド。より上質なカシミア糸の研究、最先端のニット技術を通じて、より独創的で洗練されたニットを作り出し、常に革新を続けているブランドです。

・ニット各種・・・64,800円～

☆マリーナヨットイング:1972年ブランド創設。イタリアンファッションの感性を持った、高感度で都会的なコレクション。2012年より新デザインチームを編成し、日本では2015年AWより本格的に展開を開始。

・3WAYコート(写真④)・・・127,440円

③



④



メンズフロア：B館5階



環境コンセプト「博物館」イメージ

メンズフロアのターゲットは、自分自身のスタイルを探し、創り、楽しむオトナたち。A館5階レディースフロアから連絡通路で繋がるこのフロアに対し、永山が見出した環境コンセプトは、ヨーロッパの「博物館」。全体を落ち着いたトーンの照明とマテリアルで、博物館の展示空間のようなシックでクラシカルな印象に統一しました。「上質カジュアル」・「ライフスタイル雑貨」・「ビジネスパーツ」・「ホビースタイル」などを編集テーマにセレクトした商品をご紹介します。

■B館5階 総ブランド数:25 [うち、☆=新規導入:5/改装:20]

<主なゾーン・ブランドのご紹介>

【上質カジュアル】世界基準のベーシック、大人の男のカジュアルスタイル

☆カバリエ・ブルー:2010年、デザイナーのSamy Thuillier氏が設立。パリで路面店を展開し、素材や縫製にこだわった上質なカジュアルアイテムが特徴。ブランドテーマは、「エレガントでモダンなコスチューム」。日本ではそごう・西武のみの取り扱いです。

(写真①) カットソー・・・15,120円

■NYCグッドマンスタイル:デザイナーとして活躍する鈴木良彦氏とのコラボレーションで展開する、旅をテーマに上質な素材を使ったリラックスウェア。この秋冬のテーマは「モダントラディショナル」。モダンなホリデースタイルをご紹介します。(写真②) ケーブル編みパーカー・・・15,120円

【ライフスタイル雑貨】集い・語り、大人の男の趣味の広場

☆モトリーモダ:2001年6月モモデザイン銀座として創業。2(バイク)+4(クルマ)のある六輪生活にさらなる喜びと潤いを与えるアイテムを取り揃えます。オープニングでは、「ピニンファリーナ」デザインのグッズを集積した日本初のポップアップショップを展開いたします。

(写真③) イタリアのジュエリーブランド「バラカ社」コラボ キーホルダー・・・86,400円

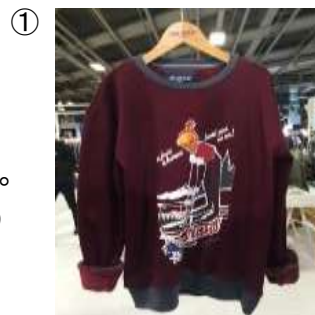
【ビジネスパーツ】世界の逸品、自分仕様のカスタマイズ、大人の男のこだわり仕事道具

☆レガロ ディ ペツレ(イタリア語で革の贈り物の意):お客さまお気に入りの革をお選びいただきクリエイターのデザインしたバッグや革小物のパターンオーダーを承るショップ。オープニングでは世界で活躍中のバッグクリエイター【KATSUYUKI KODAMA】氏をお迎えし、クリエイター本人による受注会を開催します。

(写真④) リミテッド エディション パターンオーダーバッグ・・・41,040円～

☆マークブーツ:シューズクリエイター長嶋正樹氏によるデザイン。南信州・宮内産業製の当社オリジナルオールドコードバン使用。さらに、グッドイヤープラット製法(特許製法)による履き心地にもこだわった、希少素材ゆえに国産ではほとんど見ることができなくなったそごう・西武オリジナルコードバンシューズを、値頃感ある価格でご提供いたします。

(写真⑤)コードバンブーツ・・・140,400円



⑤

【ホビースタイル】男が情熱をささげる「ギフト」・「コレクション」・「デコール」が詰まった趣味の売場。こだわりの逸品を編集しました。

☆男の書斎「キュリオシュタット」:B館 5 階の「博物館」のイメージを特徴づけるキュリオシュタット。長きに渡り、書斎の必需品とされてきた好奇心をくすぐる趣味性の高い雑貨を編集した売場です。筆記具、腕時計、ミニカー、アートオブジェ、趣味の道具、剥製から標本まで、独自視点で集めた希少性の高い逸品も取り揃えました。

左:トレイ「ibride」"ヴィクトワール"・・・19,440 円

動物と 19 世紀貴婦人をミックスした辛口アートトレイ

中:アートオブジェ「パラストーン」"ボス・怪物"・・・5,616 円

ボス等の古典絵画を3D立体にして卓上を飾るオブジェ

右:時計「アクテオ」"魔女"・・・19,980 円

150 種類以上の職業別・趣味別デザインのフランス製時計



「Art meets Life」をさらに先鋭化させる、新しいフロア展開

【A 館 2 階 婦人雑貨フロア】

■婦人帽子売場

モードを意識し、フランスのアトリエやイタリアのファクトリーを中心に品揃えを強化いたしました。店頭では、20,000 円～50,000 円の上質な帽子・約 120 点を陳列。「佐藤オオキ」が売場環境デザインを監修しました。



婦人帽子売場 イメージ

【A 館 5 階 婦人服フロア】

■ジョナサン・アドラー

1990 年代、NY のファッショナブルなセレクトショップで、白と黒のストライプ食器がブレイクしたことから脚光を浴びるようになった陶芸家ジョナサン・アドラーによるブランド。陶器や家具、ファブリックなどのインテリア雑貨からバッグや革小物、サングラスなどのファッションアイテムまで、ライフスタイル全般の提案を手掛けます。西武池袋本店に続き国内 2 番目のフルラインショップとなる渋谷店では、新たにサングラス、ネクタイ、ソックス等も取り揃えます。(写真右) デコール「ユートピア サン」・・・29,160 円

JONATHAN ADLER



【B 館 4 階 紳士服フロア】



自主編集売場 イメージ

フランスのデザイン設計事務所 **cigué**(シグ)の手により、B館 4 階の自主編集売場も新しく生まれ変わります。パリ=ヴァレット建築学校の同級生である 6 人が 2003 年に立ち上げ、「自分たちは職人である」をモットーにパリを拠点に活動する建築家・職人集団。次々と使い捨てられる消費スタイルではなく、アップサイクルリング(元あるものに価値を与える)なモノ作りを行っています。彼らが生み出す廃材や古いマテリアルを使った家具や建築が、世界中で注目を集めています。

☆インターナショナルクリエイター

時代の変化に対応するクリエイション力を持ち、パリ・ロンドン・ニューヨークで活躍するニューカマーブランドをセレクト。西武渋谷店の顧客に向けた新しい自主編集売場がローンチします。

<主な自主編集のブランド>メゾンキツネ・ウミットベナン・ジュンJ・ブラックデニム・UEG・adidas by kolor・kolor/BEACON(カラービーコン)

(写真右) ウミットベナン ミックスヤーンパッチワークニット・・・111,240 円



オープニングイベント

〈近未来を予感する、異次元モード。〉 イリス・ヴァン・ヘルペン展

ファッションを身に纏うアートとして創造し、さまざまな分野に影響与えているオランダ人デザイナー、イリス・ヴァン・ヘルペン。本展では、2015年までのアーカイブ作品を中心に、3Dプリンターから生まれた近未来を予感する作品を数多くご紹介。さらに会場のスペースデザインに、ロボットデザイナーの松井龍哉(まついたつや)氏を迎え、CYBER SPACE空間を形成。日本では初めてといえるイリス・ヴァン・ヘルペンの異次元世界が登場します。

【開催概要】

■会期:2015年8月21日(金)~9月6日(日) <17日間>

※最終日は午後5時閉場。入場は閉場時間の30分前まで

■会場:西武渋谷店 A館7階 特設会場

■主催:西武渋谷店 ※内容は一部変更になる場合あり

■入場料:500円(一律料金)

■イリス・ヴァン・ヘルペン(Iris Van Herpen)プロフィール:

1984年オランダ・ワームル生まれ。ロンドンでAlexander McQueen(アレキサンダー・マックイーン)などでキャリアを積んだ後、2007年から自身のブランド「Iris Van Herpen」をスタート。最新テクノロジーで制作するアヴァンギャルドなコレクションは業界から高く評価され、2013年春夏オートクチュールコレクションではオートクチュール協会のゲストメンバーとして参加し、建築家Julia Koernerとコラボレーションした3Dドレスなどを発表した。3Dプリンターを用いた実験的なクチュールや、ビョーク、レディー・ガガとのコラボレーションで知られている。2014年フランス国立モード芸術開発協会(Association Nationale pour le Developpement des Arts de la Mode、ANDAM)主催の「14年度ANDAMファッション・アワード(ANDAM Fashion Award 2014)」でグランプリを受賞。

■開催によせて・イリスのコメント:

私にとって、ファッションは自分自身、そして自身の体に非常に身近なものであり、自身の芸術の表現手法の一つです。それは、自らの欲求、ムードと自身のカルチャーが組み合わさる事により生まれます。

■ロボットデザイナー 松井龍哉(まつい たつや)氏 プロフィール:

フラワー・ロボティクス株式会社代表取締役社長/ロボットデザイナー。1969年東京生まれ。日本大学芸術学部卒業後、丹下健三・都市・建築・設計研究所を経て渡仏。科学技術振興事業団にてヒューマノイドロボット「PINO」などのデザインに携わる。2001年フラワー・ロボティクス社を設立。iFデザイン賞(独)、red dotデザイン賞(独)など受賞、日本大学芸術学部客員教授、グッドデザイン賞審査委員(07年~14年)。



各階 オープニング 特別企画

イリス・ヴァン・ヘルペン 2015FW COLLECTION

■A館 4階ジャスティンモード

2015 FW パリコレクションの作品を展開。素材からも強いこだわりがあり、生地をバーナーで焼いたことによって生まれた独特の柄など、イリス・ヴァン・ヘルペンの持つ世界観をリアルに落とし込んだ商品。レディ トウ ウエアは日本初展開です。

<商品展開の一例>

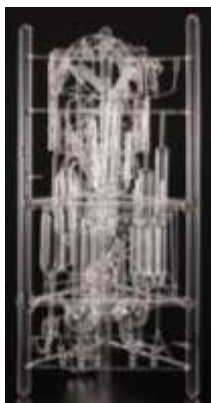
・コート(写真左)・・・262,440 円、トップ(写真右)・・・69,120 円



Glassy City ガラス作家 松村潔

■B館 5階ステージ

実験用の精密なガラス機器を制作していたという異色の経歴を持つガラス作家、松村潔。今回集められた作品は工業地帯の風景など、日本にある特有の日常風景を表現した作品群です。耐熱ガラスのパイレックスを使った緻密な作品は、見る者を引き込みます。建築家・永山祐子がセレクトした1点1点を展示・販売。「博物館」のオープニングを飾ります。



Curios City 小林正樹・高石優真

■B館 8階特設会場

B館 5階「博物館」のファクターとして、永山祐子に登用された2人のアーティスト。銀鏡、真鍮など独特のマテリアルによって構築された世界を展開します。



小林 正樹



高石 優真

※本リリースの掲載画像はイメージです。価格はすべて税込みです。

西武渋谷店 基本概要

■住所：〒150-8330 東京都渋谷区宇田川町 21-1 電話 03-3462-0111<大代表>

■店長：篁 富夫(たかむら とみお)

■2015年2月期売上高：40,211百万円(前年比101.8%)

■売場面積：43,236㎡/5館体制(A館、B館、Loft館、モヴィーダ館、パーキング館)

■おもな沿革

1968年 4月19日 開店

1986年 SEED館 開店

1987年 Loft館 開店

1999年 SEED館からモヴィーダ館へ改装

2007年 大人のラグジュアリーストアとして全館改装

2011年 ストアメッセージ「Art meets Life」発信

2013年 モヴィーダ館に無印良品、ロフト&を導入